



期間限定 2026

ロンドン動物園

ロンドン・から 41.21€

<https://londonzoo.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスperiences

起源 & 歴史

世界最古の科学動物園の軌跡

GOOGLE **4.3** ★★★★★ 36 198 レビュー

TIQETS **4.5** ★★★★★ 3 425 レビュー

ロンドン動物園は、1826年に Stamford Raffles によって設立された Zoological Society of London (ZSL) の尽力により誕生しました。当初は科学的研究を目的とした厳格な施設でしたが、**1828年4月27日**に門を開き、世界で最初の科学的動物園としての地位を確立しました。Raffles は計画を見るや否や逝去しましたが、その遺産は現代の生物多様性保全の基盤となりました。

この歴史的な敷地は、単なる展示場ではなく革新の舞台でした。**1849年**には英国初の爬虫類館が建設され、その後**1853年**には世界初の公共水族館が開館しました。これらの画期的な施設は、一般大衆にとってこれまでアクセスできなかった水生生物や爬虫類の世界を紹介し、科学への関心を高めました。

20世紀に入ると、Dr. Peter Chalmers Mitchell の指導のもと、動物たちは屋内から解放され、より自然に近い環境での生活が可能になりました。さらに **1938年**には、幼児向けに特別設計された「チャイルズ・ズー」が設立され、教育的な相互作用と早期学習の基準を確立しました。この取り組みは、現代の家族向け動物園のモデルとなりました。

現在、ZSL は200年以上にわたる科学と保全の伝統を引き継ぎ、絶滅危惧種の繁殖プログラムを積極的に推進しています。ロンドン動物園は、**2万頭以上**の動物が生息する生きた博物館であり、都市部における生物多様性の重要な拠点として、これからもその役割を果たし続けています。

体験

リジェント・パークの緑豊かな中を進み、動物園の門を通り抜けると、都会の喧騒が一瞬忘れられる静寂と生命力に包まれます。木漏れ日が差し込む通路を歩くと、遠くから聞こえる鳥の声や、時折響く動物たちの鳴き声が、訪れる者の心を穏やかにします。朝早い時間に到着すると、まだ涼しい空気が肌を撫で、動物たちが活発に動き回る姿を目の当たりにできます。

各生息地は、まるで自然の一部にいるかのような没入感を提供します。ゴリラが枝に登る様子や、トラが威厳ある姿勢で歩き回る姿は、写真では決して味わえない迫力があります。バタフライパラダイスでは、蝶々が肩に止まる瞬間の魔法のような体験が待っています。ここでは、科学と自然の調和を感じながら、心豊かなひとときを過ごせます。



訪問の準備

実用的な情報

住所

ウェストミンスター市・地下鉄: カムデントゥーン（ノーザン線）からリジェントパーク経由で約1km（徒歩）。

営業時間

毎日午前10時開園。閉園時間は季節によって異なります（夏季は遅い）。訪問前に必ず確認してください。

料金

3歳未満は無料。3～15歳は割引料金。入場券を確保するにはオンライン予約をお勧めします。

所要時間

急がずに敷地内の15ヘクタールを探索し、主要な没入型生息地を発見するには、3～5時間を計画してください。

写真撮影

動物との瞬間を捉えるための個人用写真撮影は許可され、推奨されています。フラッシュの使用は敏感な種の近くでは禁止されています。

対象客層

お子様連れの家族、自然愛好家、科学史ファンに最適。ベビーカー対応のルートも用意されています。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



チューブ / 電車

: ロンドン動物園 (B停留所) – 3 min à pied
パディントン駅 (12 min)・ヴィクトリア駅 (17 min)



バス

: パークウェイ – 8 min à pied
パディントン駅 (19 min)・ビクトリア駅 (26 min)



自動車

パディントン駅 (12 min)・ビクトリア駅 (18 min)



サンダーランド / 自転車

パディントン駅 (14 min)・ビクトリア駅 (23 min)

LOCALISATION

Où se trouve ロンドン動物園？



📍 Outer Circle Regent's Park – NW1 4RY ロンドン

🌐 51°32.117' N, 0°9.206' O



組織

効率的な見学ルートとエリア

北側エリア（虎とゴリラ）

ここには Tiger Territory と Gorilla Kingdom があり、大型哺乳類の活発な行動を観察できます。朝早く到着すれば、動物たちが最も活動的な時間帯に合わせて、迫力ある姿を見ることができます。これらのエリアは体力を要するため、最初に訪れることをお勧めします。

中央エリア（爬虫類館と昆虫館）

Blackburn Pavilion には、英国最大の毒蛇および爬虫類コレクションが展示されています。コモドドラゴンなどの希少標本も含まれており、特別な空調付きケージ内で観察できます。隣接する昆虫館では、微小な世界の驚異に触れることができます。

南側エリア（バタフライパラダイスとチャイルズ・ズー）

バタフライパラダイスは、涼やかな室内空間で蝶々と触れ合える人気スポットです。チャイルズ・ズーでは、幼児が家畜動物と触れ合い、動物生物学の基本を学ぶことができます。家族連れには特に楽しいエリアです。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

車椅子利用者がアクセスしやすく、主に通行可能な通路と対応トイレを備えています。

ファミリー向け

チャイルドズ・ズーやピクニックエリアがあり、家族連れに最適です。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

見逃せない魅力的な生息地

01

Tiger Territory

タイガーテリトリー

スマトラトラの生息地は、訪問者の感情的ハイライトとなります。自然に近い環境の中で、トラが威厳ある姿勢で歩き回る姿を観察できます。朝早い時間は特に活発で、迫力ある行動が見られます。

💡 トラは昼行性ですが、朝の涼しい時間帯に最も活動的です。開園直後に訪れることで、最高の観察チャンスを得られます。

02

Gorilla Kingdom

ゴリラキングダム

ゴリラの社会構造や狩猟行動を観察できる重要なエリアです。給餌タイムを利用して、ダイナミックなイベントを見逃さないようにしましょう。子供たちにも人気の高いスポットです。

💡 ゴリラは複雑な社会構造を持っており、個体間の相互作用を観察することで、動物の知性について深く学ぶことができます。

03

Butterfly Paradise

バタフライパラダイス

涼やかな室内空間で、蝶々が体に止まるユニークな体験ができます。親密な接触を通じて、蝶々の美しさと繊細さを実感できます。大きな屋外ケージよりも混雑していないことが多く、落ち着いた雰囲気を楽しめます。

💡 蝶々は温度変化に敏感で、涼しい環境を好みます。そのため、夏でも快適に過ごせるよう設計されています。

04

Blackburn Pavilion

ブラックバーンパビリオン（爬虫類館）

英国最大の毒蛇および爬虫類コレクションが展示されています。コモドドラゴンなどの希少標本も含まれており、特別な空調付きケージ内で観察できます。爬虫類愛好家には必見のスポットです。

💡 コモドドラゴンは2004年から動物園のコレクションに加わっており、インドネシアの巨大捕食者への稀有なアクセスを提供しています。

05

Children's Zoo

チャイルズ・ズー

1938年に設立された幼児専用の小さな動物園です。穏やかな相互作用を通じて、動物生物学の基本を簡単に理解するのに完璧です。子供たちには特に楽しいエリアです。

💡 チャイルズ・ズーは、教育的基準を確立した最初の動物園であり、現代の家族向け動物園のモデルとなっています。

06

Aquarium Area

世界初の公共水族館跡

1853年に開館した世界初の公共水族館の歴史を受け継ぐエリアです。水生生物の世界を紹介し、科学への関心を高める役割を果たしました。現在は現代的な施設に移転していますが、その歴史的意義は残っています。

💡 この水族館は、一般大衆にとってこれまでアクセスできなかった水生生物の世界を紹介することを可能にした画期的な革新でした。

07

Insect House

昆虫館

1881年に開館した最初の昆虫館の歴史的な革新により、微小な世界に対する科学的調査と公衆の驚嘆が可能になりました。先駆的な建物は、1853年の水族館や1849年の爬虫類館を補完しています。

💡 昆虫館は、微小な世界に対する科学的調査と公衆の驚嘆を可能にした歴史的な革新です。

08

Regent's Park Pathways

リジェント・パーク内の散策路

動物園の門に到達する前から緑豊かな雰囲気を味わうために、リジェント・パークを静かに横断しましょう。カムデンタウン駅からの出発をお勧めします。没入型体験の一部として、徒歩移動を楽しみましょう。

💡 リジェント・パークは、**166**ヘクタールの王立公園であり、動物訪問の前や後にリラックスした散歩を楽しむのに理想的です。

アドバイス

快適な訪問のための実用的アドバイス

TIMING

開園時に到着するのがベストです。気温上昇の前に、朝早くのトラやゴリラは明らかに活発です。10時に到着することで、密集した群衆の圧力なく自然な行動を観察できます。

BILLET

オンライン予約をお勧めします。これにより、窓口での潜在的な待ち時間を避け、施設が最大収容人数に達した場合でも入場を保証できます。特に晴天時や週末には必須です。

PARCOURS

北側から始めるのが戦略的です。Tiger Territory と Gorilla Kingdom はしばしば訪問の感情的ハイライトとなります。これら体力を要する生息地を最初に訪れることで、満足のいくエネルギーで楽しむことができます。

PHOTO

バタフライパラダイスでは、蝶々が体に止まるユニークな写真撮影に理想的です。フラッシュの使用は敏感な種の近くでは禁止されているので注意してください。

PAUSE

ピクニックを持ち込むことで大幅に節約できます。川沿いの日陰の休憩スポットが多くあり、混雑したカフェテリアから離れてゆっくり食事するのに完璧です。

ENFANTS

子供用動物園を忘れずに。幼児が家畜動物と触れ合い、動物生物学の基本を簡単に理解するのに完璧です。ベビーカー対応のルートも用意されています。

AUDIOGUIDE

公式モバイルアプリをご利用ください。インタラクティブマップや各種に関する詳細情報を提供しています。科学的理解を深めるために、各展示エリアには説明パネルが設置されています。

CONFORT

快適な靴を履いてください。コースは15ヘクタールにわたり、舗装されていない或不規則な歩道もあります。一日の終わりに足痛を避けるため、長時間の歩行に適した適切な靴を用意してください。



よくある質問

よくある質問

ロンドン動物園の入場券は事前に予約する必要がありますか？

はい、特に晴天時や週末にはオンライン予約を強くお勧めします。これにより、窓口での潜在的な待ち時間を避け、施設が最大収容人数に達した場合でも入場を保証できます。

ロンドン動物園では子供も入場料を支払う必要がありますか？

3歳未満のお子様は無料です。3歳から15歳のお子様には割引料金が適用されます。16歳以上は大人料金が必要です。購入時に最新の条件をご確認ください。

動物園への出入りを複数回行うことはできますか？

いいえ、標準チケットは通常、1回のみ入場可能です。食事をしたりリジেন্ট・パークを訪れたりするために公園を出る場合、再度入場するにはチケットを再購入する必要があります（チケットに特定の記載がある場合を除く）。

ZSLロンドン動物園とZSLウィップスネイド動物園の違いは何ですか？

ZSLロンドン動物園はロンドンのリジेंट・パーク内に位置していますが、ウィップスネイドはロンドンから北西へ約60km離れたバッキンガムシャーにある、はるかに大きなサファリパークです。これらは同じ会社によって運営される2つの異なる施設です。

ロンドン動物園の見学にはどのくらい時間がかかりますか？

ゆっくりとした完全な見学には3〜5時間を見込んでください。敷地は15ヘクタールにわたり、多くの展示エリアが点在しています。朝早く到着すれば、より活発な動物を観察でき、ピーク時の混雑を避けることができます。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

世界初の公共水族館

当動物園は **1853年** に世界初の公共水族館を開館しました。これは画期的な革新であり、これまでアクセスできなかった水生生物の世界を一般大衆に紹介することを可能にしました。

膨大な生物多様性

わずか15ヘクタールの敷地内に、約260種にわたる **2万頭以上** の動物が生息しており、都市部において例外的な生物密度を生み出しています。ZSLによって設立され、現在も重要な科学センターとしての役割を果たしています。

ユニークな爬虫類コレクション

英国最大の毒蛇および爬虫類コレクションを有しており、最近セキュリティ強化されたケージに導入された **コモドドラゴン** などの希少標本も含まれます。爬虫類館は元々1849年に建てられました。

積極的な保全活動

ZSLは現在、生息地で絶滅の危機に瀕する種の繁殖と生存に捧げられた **6つの欧州プログラム（EEP/ESB）** を調整しており、in situ 保全に積極的に貢献しています。

博物館周辺

ロンドン動物園は、広大な リジェント・パーク に囲まれており、訪問前後にリラックスした散歩を楽しむのに理想的です。公園内には、バラと熱帯温室で有名な クイーンメアリー庭園 もあり、植物学的な休憩に適しています。近くのカムデン・マーケットでは、地元らしい雰囲気ランチやディナーを楽しめます。また、プリムローズヒルからのロンドンスカイラインを一望できるパノラマビューもおすすすめです。夕日鑑賞に最適で、文化的な一日を締めくくるのにぴったりです。



ロンドン動物園の訪問は、単なる観光ではなく、地球の生物多様性への深い理解と共感を育む旅です。ここで得られる感動は、心に長く残り、自然保護への意識を高めてくれます。200年の歴史が紡ぐ物語に触れ、未来へ繋がる一歩を踏み出しましょう。